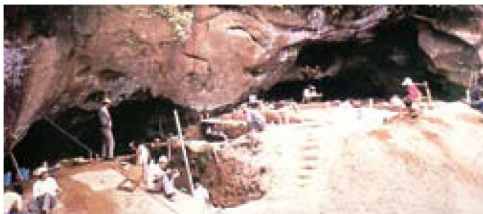


記念物 史跡／国指定

せんぶくじどうくつ

泉福寺洞窟 [K-8]



佐世保市北部を流れる相浦川中流の左岸、標高89mの砂岩露頭に南面して開口している。4つの洞窟が横に連なって構成されており、付近に湧水があるなど立地条件に恵まれている。昭和44年(1969)の発見以後10回の発掘調査が行われた。旧石器時代から平安時代に至る遺物が出土しているが、特に旧石器時代末から縄文時代草創期の土器出現期にかけての内容が優れている。この土器出現期の土器は、最古級の土器「豆粒文土器」をはじめとして、その後の変遷が層位的に解明され、我が国の縄文時代の始まりを示す遺跡として重要である。

住 佐世保市瀬戸越1-1571

TEL 0956-24-1111

P なし

交 市営、西肥バス 瀬戸越バス停

案 なし

休 —

